

# エリア ウエッツ

峡東教育事務所  
 地域教育支援スタッフ  
 TEL 0553-20-2737  
 FAX 0553-20-2733

閲覧・配布をお願いします。増す刷り配布はご自由どうぞ。この情報紙は山梨県庁のホームページでも掲載中です。  
<http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/kyoiku-hym/index.html>

## 「心の平和」

目と目が合ったという理由で、通りの真ん中で言い争いになる若者たち。  
 子どもが泣きやまないのでもイライラして暴力をふるう若い父親。  
 何回言っても言うことを聞かない子どもに大声でどなってしまう母親。  
 些細なことで言い争い、いつもケンカが絶えない夫婦。  
 自分より弱そうな子を見つけて、悪口を言ったり、いじめたりする子ども。  
 人の生活をうらやみ、嫉妬の気持ちを押しえられない人々。



ある本に書かれてあったことです。

### 「二つのバケツ」

心には二つのバケツがあります。そのバケツの一方には、黄金水が入っていて、もう一つには泥水が入っています。

他人に優しい行動をすることは、相手に黄金水を注いであげることです。すると、相手もこちらのバケツに「ありがとう、おかげさまで。」と黄金水を注いでくれます。

逆に、相手を攻撃するようなことをすれば、「何だよ、お前だって。」と泥水を注がれます。売り言葉に買い言葉です。

子どもたちは、このバケツが小さく、中には二つとも空っぽの子もいます。そんな子は、何でもいいからバケツを満たしてほしいと思い、ダダをこねたり、反抗したりします。親を困らせようとするのです。それに対し、親は子どもを感情的に怒ったり、叩いたりしてしまいます。お互いの心に泥水をかけ合ってるわけです。そして、どちらかのバケツが一杯になり、泥水がこぼれ落ちる瞬間にキレてしまうのです。

今度イライラしたら、ちょっと深呼吸をして、優しい言葉を笑顔で返してみたいかがでしょう。心の平和を取り戻すために。

「寛容の心」を少し持てば、こうした争いごとはもっと少なくなるでしょう。

自分と違う意見や、考えが合わないことに対して文句を言う。自分の不満を解消するために、他人や家族をいじめたり、危害を加えたりする。

がまんしようと思っても、ついカッとしてしまう。手が出てしまう。毎日後悔をし、そんな自分が嫌になり、さらにイライラする。

どうしたら、そんな気持ちを抑えることができるのでしょうか。



# ～ 峡東地区を訪ねて～

## 心から平和だといえる地域に...

「梅原司平さんの歌とさくら座大型こども紙芝居公演の夕べ」  
～山梨市ボランティア協会・さくら座 20周年記念公演～

8月9日(木)に山梨市民会館で、平和をテーマにした公演会が行われました。

さくら座の子どもたちは、長崎原爆の犠牲者二人の少女の実話「ふり袖の少女」を大型紙芝居で上演しました。

変わり果てた姿になった少女たちに、きれいなふり袖を着せ、火葬して弔ったという話です。

梅原司平氏は、この実話に感動し、「ふり袖の少女」を作詞・作曲しました。また、代表作「折り鶴」は広島を訪れる多くの修学旅行生に歌われています。その他「いじめ」や「不登校」などを題材にした子どもたちへの応援歌も多数聴かせてくれました。

《大型紙芝居で上演する子どもたち》



《平和のメッセージを発表する子どもたち》



### 「平和とは何だろう？」

戦争がないことはもちろんですが、

- ・一人一人が大切にされること
- ・お年寄りや子どもたち、地域の人たちが、安心して生活できること
- ・友だちと仲良く遊んだり、勉強したりできること
- ・家族や地域の人たちが、明るく、笑顔で暮らせること

こんな日常の一つ一つが、当たり前であること、大切にされることが平和だと感じた「夕べのひと時」でした。



# この子どもたちに 安心して生活できる未来を！

## 地域の子どもたちを招き、 お誕生日会・コンサート

7月13日(金)に山梨市つつじ幼稚園で、お誕生日会とコンサートが行われました。

幼稚園に入る前の小さなお子さんとお母さんが、大勢参加していました。コンサートの最後には、小さなお子さんが壇の上に登って、園児と一緒に歌を歌って楽しみました。園児たちが少し大人っぽく見えました。



## 「第8回 やまなしし 子どもフェスティバル」

8月4日(土)に山梨市民会館で、「やまなしし子どもフェスティバル」が行われました。山梨市と教育委員会が主催ですが、子育て関係者で組織された「やまなしし子どもフェスティバル実行委員会」、各子育てサークルの方々、ボランティアの小学生、高校生などが協力して会場を盛り上げていました。

多くのイベントが行われていました。

縁日やアイスなどの広場  
自主育児サークルの作品展示  
人形劇やチェロなどのコンサート  
優良図書の展示、パソコン教室  
おじいちゃんおばあちゃんと遊ぼう  
子育て何でも相談、食育について  
ベビーマッサージ・赤ちゃんだっこ体験コーナー  
おもちゃの「かえっこ」コーナー等



《ベビーマッサージのコーナー》



ベビーマッサージ・赤ちゃんだっこ体験のコーナーでは、体験学習の場として、保健師・助産師の指導のもと、地元の高校生らが、実際に赤ちゃんをあやしたり、抱いたりしていました。参加した高校生の多くは、保育士を希望しているそうです。みんな実にいい顔をしていました。

まさに「安心して子どもを生き育てる環境づくり」を推進するために、多くの人が関わっていました。

「平和や安心」は、与えられるだけでなく、自分たちで作上げるものだということを教えてくれているようでもありました。



《おもちゃのかえっこコーナー》

おもちゃの  
交換会。  
選ぶ目も真  
剣そのもの。



# 笛吹市八代町「ふれあいの集い」

～ 長野県「伊那谷道中」～

8月5日(日)に笛吹市八代町では、社会福祉協議会と八和会の主催で「ふれあいの集い」が実施されました。

八和会とは、八代町在住の現職・退職者の教員の会です。毎年、地域の子どもたちや、身障者、お年寄り、作業所で働く方など様々な方が参加して研修旅行等にでかけます。

今年は、長野県飯田市の「伊那谷道中」へ行ってきました。バスの中でクイズやビンゴをし、おみやげを買ったり、お風呂に入ったりして、まさに「ふれあいの一日」でした。



## 峡東地区「子育て講演会」を終えて

8月7日(火)山梨市民会館に山梨大学の栗田真司准教授を招き、子育て講演会が行なわれました。「地域教育とまちづくり」という演題で、地域のありかた、子育てや人付き合いの大切さなどを、ユーモアを交えて話してくださいました。

《真剣に話を聞く参加者(183名)》

《講演中の栗田真司先生》



## 参加者のご意見・感想(抜粋)

今住んでいる地域にずっといたいと思うようなまちづくりができるといいと思いました。

「怒りそうになったら、一回深呼吸してニコッと笑顔」早速実践してみます。人を認め、自分を認めてもらおうと思います。今日からちょっぴりがんばってみます。

「地域の子どもは地域で育てる」大切さを実感しました。家庭・学校・地域社会が、みんなで協力していくことを再確認しました。

うなずき・ペーシング・オウム返し、思春期に突入した娘とのやりとりに

は、ぜひ必要だと反省しています。家庭でできること...言葉がけ・比較しない・脅かさない・失敗したときこそほめる・がんばってるね・がんばったね・うなずきの大切さを改めて教えてもらいました。

高齢化社会が進む中、地域のお年寄りの方々と交流を増やして、常識のある子どもにできるとよいと思います。

職場でのコミュニケーションを改めようと思いました。今日帰宅したら、まずは笑顔で話をしたいと思いました。地域の中で、自分は何ができるのか、貢献できるのか考えたいと思います。